



1月23日に「関節リウマチ」をテーマに市民公開講座を開催しました！ご参加頂いた多数の市民の皆様は、講師である当院整形外科、石澤副院長の熱弁に聞き入っていました。今回の石澤先生のお話が、市民の皆様にとって“関節リウマチ”に対する正しい知識を知るきっかけとなる事を心より願っております。

### 医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

#### 基本方針

#### 1. 良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

#### 2. 患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもットーとし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

#### 3. 患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

#### 4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。

# 新型MRI

当院では従来からMRI装置（0.5テスラ）を導入していましたが、より高度医療に対応するため1.5テスラ装置を導入し、平成21年10月より運用を開始しております。

## MR I 検査とは

MRIとはMagnetic（磁気）Resonance（共鳴）Imaging（画像）の略で、強力な磁石の中に身体を置き、特定の周波数の電波をかけることにより体の中からも電波が放出されます。その電波を解析することで身体の断面の画像を作ります。（電波をかけるときMRI特有の大きな音がします。）

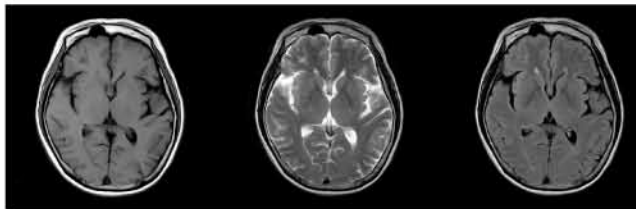


## 新装置の特徴

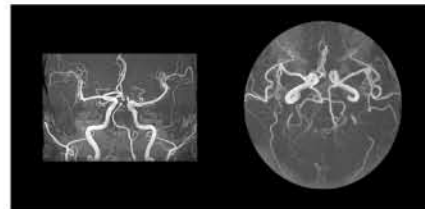
従来のMRI装置は大きな音がするうえ検査時間が長く、狭く圧迫感のあるものでしたので、患者さんにとっては検査自体が苦痛を伴うものだったと思います。新装置は高性能なうえ静音性に優れ、検査時間が短く、圧迫感が少なくなっています。

## 頭部領域

従来では検出できなかった脳内の微細病変、脳血管では細かい部位まで鮮明に描出されるため狭窄や小さな動脈瘤が検出でき早期診断が可能となります。



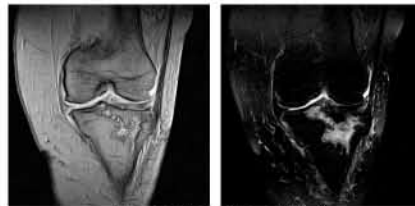
脳（微細な病変まで描出できます）



脳血管（細かな血管まで描出できます）

## 脊椎、骨軟部領域

従来と比較して軟部組織のコントラスト分解能が向上し、関節軟骨部の変性等も見えてきます。更に骨軟部領域では関節軟骨、骨梁、軟部組織の性状をより詳細に評価することができます。



膝（骨折（右画像））



胸腰椎（圧迫骨折（右画像））

## 腹部領域

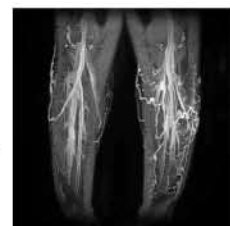
呼吸同期の機能が付加されたため動きのない鮮明な画像となり、描出能が向上しております。



胆のう、胆管、膵管

## 血管

造影剤を使用することなく血管の描出が可能となります。（注：造影剤を使用しなければならぬ部位もあります。）



血管（下腿）

## 検査時の注意事項

MRI装置はその周りを強い磁場で覆われています。そのため金属（磁性体）を検査室内に入れることができません。以下に該当する方は医師、MRI担当技師に申し出てください。

### 検査を受けることができません

- ◎心臓ペースメーカーを埋め込まれている方
- ◎金属製の心臓人工弁をご使用されている方
- ◎人工内耳、人工耳小骨をご使用されている方

### 検査を受けられないことがあります

- ◎脳動脈瘤手術を受けた方
- ◎金属が体内にある方

### 検査室に持ち込みできないもの（着替えの際に外していただきます）

- ◎眼鏡、腕時計、入れ歯、コンタクトレンズ、補聴器、アクセサリー、下着の金具、鍵、シップ薬、ホカロン、エレキパン

安心・安全に検査を受けていただくために、みなさまのご協力をお願いします。







## 冷え性体質と睡眠の関わりについて

### 冷え性体質はなかなか眠れない？

寝つきの悪い理由は手足の冷えに関係がある？

人は睡眠時、日中の活動で上がった体温を手足の表面から放熱させることで、体や脳が休みの準備をはじめます。そして、身体奥の体温が急降下し、眠気がおこります。

しかし、手足が冷えて血流の悪い状態では、手足から熱を逃がすことができないため、身体奥の深部体温が低下せず、寝つきが悪く、ぐっすり眠ることができません。

### 夜中、トイレに何度も起きる

体が冷えるとトイレへ頻回に行きたくなります。これは、体が冷えることで発汗作用が抑制され、汗をかかなくなり、代謝された水分が汗からでなく尿として排泄しなければならなくなり、尿量が増えているのです。

特に夜間に体が冷えると尿量が多くなり、オシッコの回数が多くなります。

日々の生活の中で睡眠の占める割合は大きく、寒さや冷えにより睡眠が妨げられるつらさは深刻なものです。

睡眠は心身の健康のためにも不可欠なものなので、対策や工夫をした方が良いに決まっています！そこで・・・

### 寝る前にも、衣服で体を冷やさない工夫をしましょう。

#### <対策>

1. 寝る時に5本指ソックスやレッグウォーマーなどを着ける。
2. 首は最も冷気を感じやすいところ、寝ているときもタオルやマフラーなどで首を包むようにする。

まだまだ寒い夜は続きます。風邪などひかず、寝る前は身体を暖かくして、快適な睡眠ライフを送ってくださいね。

## 各部門紹介コーナー

今回は 医療技術部『透析室』の紹介です

### 透析科概要

#### ★血液浄化業務

血液浄化（透析）とは腎臓が悪くなった患者様に対し、腎臓の代行として体に溜まった老廃物や余分な水分を体の外へ排泄する治療を言います。この治療には専用装置を使い、日々患者様の状態管理や機器操作・メンテナンス・修理を行っています。

#### ★ME 機器管理業務

院内で日々使用されている医療機器の保守点検や修理、スタッフへの使用方法の指導等を主に行っています。

スタッフ：臨床工学技士4名 看護師2名 看護助手1名

### 透析科アピール

☆透析室・・・透析している時は身動きが取れないため出来る限り患者様の声に耳を傾け、患者様が透析療法を安心かつ快適に感じ、スタッフ全員がよりよい環境を提供でき、それがQOL（日常生活水準）の向上につながるよう努めています。

☆ME室・・・日々医療機器の清掃及び点検を行い、機器トラブルの減少に力を注いでいます。また機器トラブルが発生した時には医療機器トラブル＝臨床工学技士とだけ思っただけのよう、院内スタッフからの信頼と患者様からの安心感が得られるME室を目指しています。

<透析室 菅原 篤>



### スタッフから一言

患者様が和める透析室を目指しています。

患者様の声に耳を傾け、より分かりやすい説明ができるよう心掛けています。

患者様とのコミュニケーションをとる時には笑顔で心掛けています。

患者様が快適な透析ができるようがんばります。

患者様が安心して透析が受けられるよう頑張ります。





## 在宅療養支援について

当院では退院後自宅での療養を希望される方や、外来への通院が困難な患者様のために在宅療養の支援を行っております。患者様の病院・施設ではなく自宅で暮らしたいという希望を尊重し、また介護をする方の負担を軽減するために以下のような事業を行っております。



### 訪問診療

訪問診療とは、医師が患者様の自宅に伺って診察を行うものです。具合が悪くなった時の往診とは異なり、定期的に診察を受けお薬を処方してもらうことができます。当院では医師3名が訪問診療を担当しており、一般的な診察に加えて自宅でのカテーテル類の交換、床ずれの処置、血液や尿検査、予防接種等も行っております。訪問診療を希望される場合は主治医に御相談ください。

### 訪問リハビリテーション

通院が困難な方の自宅に週1回自宅に訪問してリハビリテーションを行っています。利用されている方は脳卒中後遺症や脊髄損傷の方で障害が重く介助を要する方が多いです。内容は関節が固まらないように動かしたり、運動をして筋力をつける事を主に行っていますが、訪問リハビリテーションを受けている方や家族のお話を聞いて、介助の方法や介護用品の使用を勧めることで介護負担の負担を減らすアドバイスも行ったりしています。

### 訪問看護（天王訪問看護ステーション）

訪問看護は、身体の状態観察・尿の管の交換や管理・床ずれの処置・入浴介助や清拭・医師の指示による点滴や採血など内容は多岐にわたります。利用者やご家族の方に安心していただけるように24時間対応しています。現在天王を中心に男鹿市の利用者を合わせて50名の方に訪問しています。利用者の7割の方が藤原記念病院と出戸診療所を利用されています。利用者の方を中心に、サービス事業者との連携を図り、より良い対人関係をつくるのが在宅療養を支える上でとても大切なことだと思います。自宅で過ごせてまた介護して良かったと思ってもらえるように私たちも一生懸命頑張りたいと思います。

### 居宅介護支援（まごころプランステーション）

介護保険サービスについては、だいぶ浸透してきていますが、認知症状のある方や一人暮らしの方、老夫婦二人で不安に生活している方が増えてきています。いざ介護が必要となった場合「どうしたらいいのかわかなくなってしまった」というのが現状のようです。まずは私たちの所にご相談下さい。「まごころ」と「笑顔」をモットーに「どうしたら安心して住み慣れた自宅で生活ができるか」を共に考えていきます。安心した毎日が自宅で送れたらステキですよ！

### 出戸診療所

在宅支援診療所として、定期的訪問診療の他に自宅で最後まで療養を希望される患者様への対応を行っています。現在追分～二田地区の患者様を診療所にお願ひしており、入院が必要な場合は連携をとりながら病院で入院していただく体制をとっています。





## ガーデニング(ツツジについて)

ツツジは私たちにとって非常になじみ深い植物です。おそらく年間数十万本か、それ以上の苗木が供給されていますから、多くの家の庭や公園などにツツジが植わっています。

ツツジとは何かと言えば、ツツジ・シャクナゲ属(Rhododendron)の中からシャクナゲを除いたものであって、植物の分類に基づいた名称ではありません。つまり、ツツジ・シャクナゲ属は植物学的にツツジとシャクナゲとに分かれるわけではありません。また、ドウダンツツジなどはまた別の属ですから本来のツツジとは異なったものです。

ツツジと呼ばれるものには大きな三つの仲間があります。

ひとつは、常緑ツツジの仲間です。常緑ツツジは世界で約90種か、多分それ以上の種類が東アジアの特に南部を中心に自生しており、そのうちおよそ17種から23種が日本に見られます。また、交配などによって多くの園芸品種が作られています。よく、ツツジとどこが違うのかと問われることのあるサツキもこの常緑ツツジの仲間の一種です。大型の平戸ツツジと言われるものや小型の久留米ツツジ、さらに小型のミヤマキリシマなどがあります。ツツジやサツキについては、およそ三百年前の園芸書にそれぞれ百種類以上の品種の記載があり、古くから品種改良がおこなわれていたと考えられます。ただ最初は、自生しているものの中の変異個体や枝変わりによる変異を集めたものと思われる。ツツジの実生技術が確立したのは二百年ほど前のこととされています。

次に落葉ツツジの仲間がありますが、この中には二つのものがあって、一つはレンゲツツジの仲間です。エクスパリーアザレアとか匂いツツジとか言われているもので、北アメリカに多くの原種が自生していまかこの仲間の品種改良は百年位前からヨーロッパではじまったようですが、第二次世界大戦後にイギリスで改良された、豪華な花をつけるエクスパリーアザレアは日本でも広く出回っています。もう一つはミツバツツジの仲間です。この仲間には園芸品種はあまり早られません。日本で進化した仲間です。日本各地に何種類もの原種が自生していますが、いずれもよく似た花を咲かせます。同じ落葉ツツジでもレンゲツツジの仲間と、ミツバツツジの仲間とは分類上近縁ではありません。

最後に有鱗片類の仲間があります。欧米ではこの仲間はRhododendron(シャクナゲ)と呼ばれていますが、外見的にはシャクナゲと言うよりはツツジのように日本人の目には見えるので日本では一般にツツジと呼ばれています。最近では交配種も出回ってきて、園芸店や植木市などで青紫の小型のツツジを見かけたら、それはこの仲間のツツジです。そのほかに藤桃色のゲンカイツツジや薄黄色のヒカゲツツジがあります。海外ではヒマラヤ山麓に非常に多くの種類を産し、またヨーロッパのアルペンローゼはこの仲間の一種(Rhododendron ferrugineum)のことを言います。さらに熱帯アジアからオセアニアにかけて、極めて多数の種類が見られるビレア(熱帯シャクナゲ、マレーシアシャクナゲ)も有鱗片類です。

このように、一口にツツジと言ってもなかなか複雑ではあります。

東 絃一郎





## 診察のご案内

- 外来診療：平日／9：00～17：00  
土曜／9：00～12：00
- 休診日：日曜日・祝祭日・盆休（8月13日）  
年末年始（12月31日～1月3日）
- 診療科案内：内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・  
泌尿器科・胃腸科・肛門科・循環器科・呼吸器科・  
アレルギー科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・  
放射線科
- 人間ドック：随時受け付けています。



Fujiwara Memorial Hospital

## 藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~keitoku/>

## 編集後記

昨年は新型インフルエンザの大流行など慌ただしい年でした。皆様にもご迷惑をおかけしたことと思います。今年は予防接種など免疫力をつけて立ち向かいたいですね！  
数年ぶりの寒さにめげてしまいそうですが、寒さ対策をばっちりして、体調管理に気をつけましょう。本年も「なつめ」をよろしく願います。

## 特選！受付のお花

いつも患者様にご好評頂いている受付の花を特選し、紹介します。

母の日でお馴染みのカーネーション、この花には一体どんな物語があるのでしょ。少しだけ調べてみました。

一説によるとこの花は、処刑されるキリストを見送った聖母マリアが流した涙から生まれた花で、キリストの血が飛び散って中央が赤くなったとも言われており、母性愛の象徴とされています。

ちなみに詩人の北原白秋は、酔うとバーに飾ってあるカーネーションの花を食べてみんなを驚かせたという話があります。ヨーロッパのエディブルフラワー（食べられる花）の習慣を知っていたのかも知れませんね。

### イタリア伝説

ロンセッコ伯爵のオランダは結婚式を挙げた翌日に、十字軍の騎士として従軍しなければならなかった。新妻のマルガリータは出陣する夫に、白いカーネーションの花を一本贈った。一年が過ぎた頃、彼女に悲しい知らせが届いた。オランダは先頭に立って戦い、全身に刃を受けて戦死したのだ。彼が肌身離さず持っていた萎れたカーネーションは血で赤く染まっていた。形見に付いていたわずかなタネをまくと中心部だけが赤い白い花が咲いた。以来、ロンセッコ家の家紋はカーネーションである。



学名

ダイアンサス(Dianthus.sp)

分類：ナデシコ科カーネーション

## なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)